

いのちを考える



9月の道徳は、3週に渡り“いのち(生命の尊さ)”をテーマに授業を行いました。1週目の「奇跡の一週間」ではいつか終わりが来るいのち(有限性)、2週目の「妹に」ではずっとつながっているいのち(連続性)、今週はさらに今ここにある私のいのち(偶然性)について触れ、以上の3つのいのちについて考えました。

なぜ『いのち』は大切だと思いますか。【ワークシートより】

- ・いのちはみんな平等にあって、はかないものだから大切にしようと思った。
- ・自分のいのちはどう生まれたのか考えていたら、一番初めの先祖はどんな人だったのかなと考えるのが楽しかった。命は偶然だと思った。
- ・命は本当に大切。やりたいこと、やりたくないことたくさんあると思うけど生きているからそう感じられる。
- ・改めて考えると深いなと思った。一度きりの人生を大切にし、好きなこともしっかりやって苦手なことにも挑戦してみたいと思う。
- ・この限りある命の時間を自分なりにどう生きてどう終わらせるのがいいのか考えるのも大事なかなと思った。
- ・悔いのない、ではなくもっと生きたいと思える楽しい人生にしたいと思った。

パネル完成

約2週間、7時間目の活動が終わると、体育館ではパネル係が運動会パネルの制作を行ってきました。2年生からは白井くん、高田くん、谷合くん、川島さん、高田さん、福井さんが参加しました。パネルのデザインに込めた3年生のコンセプトを理解したうえで、一筆ずつ想いを込めて塗り進めました。完成後のミーティングでは、「鯉がしっかり泳いでいるし、椿もバンッと咲いているし、出来映えに満足しています」「来年は3年生として後輩を引っ張る立場になるので先輩を見習って頑張りたいです」と一人一人が力強い言葉を述べてくれました。9月26日(月)の朝礼では全校生徒の前でパネルのお披露目をしました。運動会当日はこのパネルの前で競技、演技に全力で取り組みましょう。



保護者の皆様にも運動会に足をお運びの際には、パネルから生徒たちの運動会にかける想いを感じ取っていただけると幸いです。

